「まつやま塾」での体験学習の取り組み

が子どもたちの力になる

#### 空気鉄砲作りと竹はし お椀作り体験

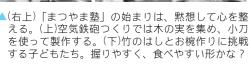
月 9日 (金)











れる南三箇の史跡3か所を見学しま

ることを目的に学習しました。 道具を使って物を作る技術を習得す おもちゃで楽しむことと小刀などの ながらの遊びを自分たちの手作り は、 空気鉄砲作り。

着手しました。 さなどをどうするか考えて、 棒の長さ、 さにそろえました。 いて子どもたちは検討。 作る前に、 小刀で竹を切り、 中に詰める木の実の大き 空気鉄砲の仕組みにつ 初めに木の実を採取 1年生など、 筒の大きさ、 手ごろな長 製作に 実施するそうめん流しの準備として、

竹

指導を仰ぎながら作りました。 飛ばすことができました。 た鉄砲は大きな音を立てて木の た子どもたちは、 から初めて「まつ 地域の皆さん やま塾」 に参 実を でき

9月14日 (水) は、16日

(金)

用するはしとお椀を作りました。 子どもたちは小刀を使って自分が愛 竹ではしとお椀を作製しました。 はしの形になるのかを考えながら、 をどう削れば、 自分が食べやす

> 知ることで、 育てることを目的に学習しました。 たちの地域とその歴史を実際に見て 今回は、乙女小学校から歩いて回 る史跡を見学する歴史散 月 21 日 (水) ふるさとを愛する心と は、 地 元 地 自分 域

が設けられたころの南三箇の歴史に 最初に南三箇水天宮を訪問。 る久米壯亞さん 講師に、 町文化財保護委員を務め (麻生原区) を迎え、 水天宮

いて話を聞きました。

明や、 米さん あったことを聞いて、子どもたちは いる場所が昔の主要な道路沿 手を合わせてお参りしました。 (南三箇区) から御堂が立って コーディネーターの宮本松雄 から阿弥陀如来についての説 南三箇阿弥陀堂を見学。 いっで

置当時の南 六地蔵を見学。 最後に、 竹林を分け入って、 二箇について説明を聞き 六地蔵の役割や設 南三

#### 地域の歴史散策 ~南三箇の史跡巡り







(下)南三箇阿弥陀堂では、地域に感謝してお参り南三箇の史跡巡りで、史跡説明の講師を務めた久米

# はぐくむ子どもたちの力 地域社会の皆さんとともに

特に定年退職した人でいろいろ 21年度からは、一般の社会人、 が良いではないかと考え、平成 の人々が親身になって関わるの 力を伸ばすためには、地域社会 参加していただいています。 な経験と関心のある人を誘って をはぐくむための取り組みとし ちを取り巻く学習環境をサポー 塾」は、平成20年度に子どもた て始まりました。子どもたちの トして、子どもたちの伸びる力 放課後子ども教室「まつやま

### 大人と子どもたちが一緒に 体験することでの触れ合い

組んで体験する関係を築くよう 子どもたちと一緒に活動に取り 導し教えるという関係ではなく 皆さんが先生のように児童に指 にしています。子どもたちに手 「まつやま塾」では、地域の



げる関係です。 が必要なときに、手を貸してあ

的なこと、歴史的なことなどに らいたいからです。昨年あたり 切さをを子どもたちに感じても ミュニケーションを取ることで どもたち同士が体験を通してコ でしたが、文化的なことや科学 がり、これまで農業体験が大半 対1の関係で触れ合うことの大 子どもたちの社会性を育て、1 なぜなら、地域の皆さんや子 地域の皆さんの参加も広

> のかという視点で子どもたちに んだら、今後の社会で役に立つ

ちがふくらんできています。 ついても体験学習の幅が広がっ ていて、地域全体で育てる気持

# 身に付けるための体験学習 社会の中で強く生きる力を

が、その後の学校での学習や社 びを通して心と体で感じたもの 多かったからです。子どもの遊 遊びの中で体験したことが、年 うと、私自身も子どものころに を重ねるにつれて役立つことが どうして、体験が大切かとい

> も感じてほしいと願うのです。 切であると同時に、植物の育て 解できたときに、さらに力とし 会などでの経験を通して深く理 教科学習の延長線上にあるもの 方、物の作り方などを通して、 体験活動は、体験そのものも大 て夢がふくらむのです。そして て身に付くとともに、体験とし また、どういう体験に取り組

# 成長する子どもたちの姿 新たな発見を繰り返して日々

体験させたいと考えています。

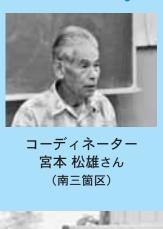
地域の皆さんと子どもたちとが 命に取り組んで達成できたとき ないだろうと心配することも、 緒にアイデアを出して一生懸 子どもたちには難しくてでき

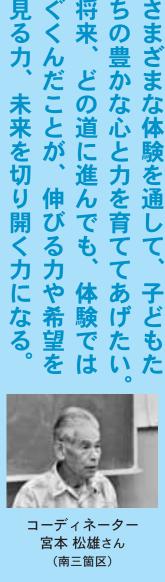
> 面白くなってきます。 実感できて、手伝う側としても に非常にうれしく思います。 子どもたちが伸びていることが ねり新たな発見をしてくれると、 に、子どもたちがアイデアをひ

の参加を増やして、子どもたち いものかということを感じてほ と関わることが、どれほど面白 今後は、もっと地域の皆さん

## 子どもたちが切り開く未来 体験を通して伸びていく

手伝いしていきたいです。 もたちが心を燃やせる体験をお からも「まつやま塾」で、子ど びる力、希望を見る力、切り開 将来どの道に進むとしても、 く力になると思うのです。これ 体験学習は、子どもたちが、





見る力、未来を切り開く力になる。

伸びる力や希望を

